

GUIDE OF Concerning Stock 株式についてのご案内

『復興特別所得税』に関するご案内

2013年1月1日より『東日本大震災からの復興のための施策を実施するために必要な財源の確保に関する特別措置法』(平成23年法律第117号)が施行され、**2013年1月1日から2037年12月31日までの間(25年間)に生じる所得には、その所得税額の2.1%が『復興特別所得税』として課税されることとなりました。**

株式等の配当金等も『復興特別所得税』の対象となり、源泉所得税を徴収する際、復興特別所得税が併せて徴収されます。

〈上場株式等の配当等に係る源泉徴収税率について〉

配当等の支払開始日	2013年1月1日～2013年12月31日	2014年1月1日～2037年12月31日	2038年1月1日～
上場株式等の配当等の税率	10.147%	20.315%	20%
内訳	所得税 ^(※1) + 復興特別所得税 7.147% ^(※2) 住民税 ^(※1) 3%	所得税 + 復興特別所得税 15.315% ^(※3) 住民税 5%	所得税 15% 住民税 5%

※1 上場株式等の配当等に係る所得税率・地方税率は、2013年12月31日までは租税特別措置法により所得税7%・住民税3%に軽減されています(本則:所得税15%・住民税5%)。

※2 当該期間の所得税率(軽減税率) 7% + 復興特別所得税に係る追加分 0.147%(7% × 復興特別所得税率 2.1%)

※3 当該期間の所得税率(本則税率) 15% + 復興特別所得税に係る追加分 0.315%(15% × 復興特別所得税率 2.1%)

ご案内の内容が該当しない場合がございます。詳細につきましては、所轄の税務署へご確認ください。

(2013年1月時点の情報をもとに作成しています)

株主メモ

■ 事業年度 4月1日から翌年3月31日まで

■ 定時株主総会 6月

■ 基準日 定時株主総会: 3月31日
 期末配当: 3月31日
 中間配当: 9月30日(行方場合)

■ 公告方法 電子公告により行います。ただし、事故その他やむを得ない事由により電子公告をすることができない場合は、日本経済新聞に掲載いたします。

■ 電子公告掲載ホームページアドレス <http://www.keihan.co.jp/koukoku/>

■ 株主名簿管理人 三井住友信託銀行株式会社

■ 郵便物送付先 〒168-0063 東京都杉並区和泉2丁目8番4号
 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部

 **0120-782-031**

(銀行営業日の9:00～17:00)

取次事務は三井住友信託銀行株式会社の本店および全国各支店で行っております。

■ 各種手続きのお申し出先

未払配当金の支払い請求	▶ 三井住友信託銀行(株主名簿管理人)
住所変更、相続、単元未満株式の買取請求・買増請求、配当金受取方法の指定等	証券会社の口座で管理されている株主様 ▶ お取引証券会社 特別口座が開設された株主様※ ▶ 三井住友信託銀行(特別口座管理機関)

※証券会社の口座で管理されていない株式は、当社が三井住友信託銀行に開設した「特別口座」にて管理されております。特別口座では、株式の売買等はできません。売買等を行うには、証券会社に口座を開設したうえで、株式の振替手続きをしていただく必要があります。

京阪電気鉄道株式会社

〒540-6591

大阪市中央区大手前1丁目7番31号

株式担当 TEL(06)6944-2521 広報担当 TEL(06)6945-4585

ホームページアドレス: <http://www.keihan.co.jp/>

京阪

第91期

株主通信

平成24年4月1日から平成25年3月31日まで



第91期株主通信をお届けするにあたり、株主のみなさまの平素からのご厚情に、心から御礼申し上げます。

平成24年度の業績について

当期の京阪グループは、各事業にわたり積極的な営業活動をおこない、業績の向上に努めました結果、連結当期純利益は110億7千7百万円、当社単体の当期純利益は76億8千7百万円となりました。また、当期の期末配当は1株につき2.5円(中間配当を含めて5円)といたしました。来期以降も継続して年5円以上の配当を実施することを目標として、引き続き経営努力を重ねてまいります。

「安全・安心」を最優先に

「次の100年のために『強靱な京阪』の礎を築く」を基本方針とした「京阪グループ中期経営計画(2012~2014年度)」の初年度を終えました。各事業で徹底的な効率化に取り組み収益力の強化を図るなど、当計画で掲げた施策を着実に遂行した結果、営業収益は過去最高となり、営業、経常、当期純利益についても過去最高益となりました。また、連結当期純利益につきましては、開業以来初めて100億円の大台を超えたことができました。

このように当期の業績は順調に推移いたしました。一方で、決して忘れてはいけないのがお客さまの安全です。当グループの礎となっているのは、「安全」の確保とそれがもたらす「安心」の提供です。自然災害などの不測の事態にも対処し、これらを守り続けることは重要な使命であります。

この使命を果たすべく当社では、毎年自然災害などを想定

代表取締役社長
CEO兼COO
執行役員社長

加藤 好文



した訓練を数多く実施し、鉄道はもちろんのこと、駅に隣接する商業施設などについても、関係者の危機管理への意識と対応能力の向上を図っております。今後も継続的に訓練を実施し、お客さまに安心して京阪グループをご利用いただけるよう取り組んでまいります。

引き続き強靱な経営基盤の構築を進めるとともに、コンプライアンスの遵守、環境保全、地域との共生といった社会的責任を果たすことにより企業価値とブランドを向上させ、株主価値の最大化に努めてまいります。

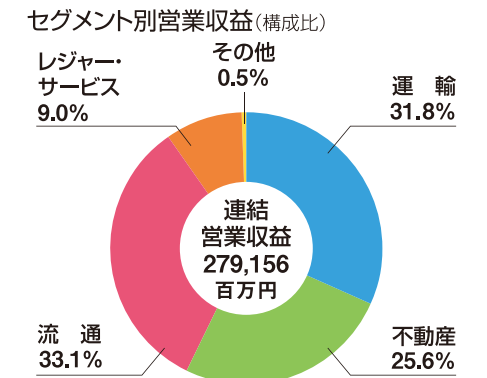
株主のみなさまには、今後も一層のご支援、ご愛顧を賜りますよう、よろしく願い申し上げます。

平成25年6月

平成24年度の連結業績について

当期のわが国経済は、東日本大震災からの復興需要などもあり、期の前半においては緩やかな回復傾向がみられましたが、海外経済の減速や長引く円高の影響などもあって本格的な回復には至らず、全体として弱い動きで推移いたしました。しかしながら、期末にかけては、輸出環境の改善などもあり、再び回復の兆しがみえてまいりました。

このような経済情勢のもと、当社グループでは、各事業にわたり積極的な営業活動をおこなって、業績の向上に努めました結果、当期の営業収益は2,791億5千6百万円(前期比:5.1%増)、営業利益は232億8千9百万円(前期比:28.2%増)、経常利益は189億3千3百万円(前期比:39.4%増)、当期純利益は110億7千7百万円(前期比:58.1%増)となりました。



※構成比は、セグメント間取引を含む営業収益に対する比率です。



鉄道事業におきましては、新型車両13000系の営業運転を開始したほか、淀駅付近立体交差化事業の進捗に伴い、京阪線のダイヤの一部変更を実施いたしました。また、京福電気鉄道(株)嵐山本線嵐山駅のリニューアルを実施いたしました。バス事業におきましては、「ダイレクトエクスプレス直Q京都」号で、京都・交野・なんば間の新路線の運行を開始いたしましたほか、関西国際空港リムジンバス京都線が好調に推移いたしました。



ショッピングモールの経営におきましては、平成26年春の開業を目指し、「KUZUHA MALL」の増床リニューアル工事に着手いたしました。また、複合商業ビル「KiKi京橋」では、日本最大級の大衆演劇劇場「羅い舞座(らいびざ)京橋劇場」を誘致いたしましたほか、千葉県印西市の大型商業施設「BIG HOP ガーデンモール印西」のプロパティマネジメント業務およびリニューアル業務を受託するなど、収益力強化を図りました。ストア業におきましては、「フレスト香里園店」をリニューアルオープンいたしました。



不動産販売業におきましては、「京阪東ローズタウン」「東豊中プレミアム」などの土地建物およびマンション「ファインシティ大阪城公園」「グランファースト千里桃山台」などを販売いたしました。また、不動産賃貸業におきましては、前期に取得した「永新ビル」「みかみビル」「虎ノ門5森ビル」や株式取得により連結子会社としたイースタン興業(株)が通期で寄与いたしましたほか、既存の賃貸ビルにおいても稼働率向上に努めました。



ホテル事業におきましては、(株)ホテル京阪においてセールス部門を強化し、需要を機敏に取り込むことができたほか、食材などの購入業務を集約する「京阪グループホテル集中購買センター」を全13ホテルに順次導入するなど、競争力の強化に努めました。また、「京都センチュリーホテル」、「京都タワーホテル」、「ホテル京阪京橋」において、レストランや客室などリニューアルを実施いたしました。

連結貸借対照表

(平成25年3月31日現在)

科目	金額	科目	金額
(資産の部)		(負債の部)	
流動資産	134,596	流動負債	176,940
現金及び預金	22,851	支払手形及び買掛金	10,096
受取手形及び売掛金	22,354	短期借入金	80,546
販売土地及び建物	75,764	前受金	24,091
繰延税金資産	2,637	その他	62,206
その他	10,987	固定負債	318,400
固定資産	518,866	社債	70,987
有形固定資産	452,086	長期借入金	160,942
建物及び構築物	182,195	長期未払金	2,238
機械装置及び運搬具	12,460	退職給付引当金	14,558
土地	222,783	その他	69,673
建設仮勘定	26,004	負債合計	495,340
その他	8,643	(純資産の部)	
無形固定資産	7,593	株主資本	116,170
投資その他の資産	59,186	資本金	51,466
投資有価証券	37,661	資本剰余金	28,818
繰延税金資産	2,333	利益剰余金	37,258
その他	19,191	自己株式	△ 1,373
		その他の包括利益累計額	39,266
		その他有価証券評価差額金	8,423
		土地再評価差額金	30,842
		少数株主持分	2,685
		純資産合計	158,121
資産合計	653,462	負債純資産合計	653,462

(注)記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

連結株主資本等変動計算書

(平成24年4月1日から平成25年3月31日まで)

	株主資本				株主資本合計	その他の包括利益累計額			少数株主持分	純資産合計
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式		その他有価証券評価差額金	土地再評価差額金	その他の包括利益累計額合計		
当期首残高	51,466	28,818	28,752	△ 1,357	107,680	4,624	30,869	35,493	2,613	145,788
当期変動額										
剰余金の配当			△ 2,812		△ 2,812					△ 2,812
当期純利益			11,077		11,077					11,077
土地再評価差額金取崩額			26		26					26
連結範囲の変動			213		213					213
自己株式の取得				△ 19	△ 19					△ 19
自己株式の処分				3	3					3
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)		△ 0								
当期変動額合計	—	△ 0	8,505	△ 15	8,489	3,799	△ 26	3,772	71	12,333
当期末残高	51,466	28,818	37,258	△ 1,373	116,170	8,423	30,842	39,266	2,685	158,121

(注)記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

連結損益計算書

(平成24年4月1日から平成25年3月31日まで)

科目	金額
営業収益	279,156
営業費	255,866
営業利益	23,289
営業外収益	1,354
営業外費用	5,710
経常利益	18,933
特別利益	1,991
特別損失	2,091
税金等調整前当期純利益	18,834
法人税、住民税及び事業税	7,009
法人税等調整額	634
少数株主損益調整前当期純利益	11,189
少数株主利益	111
当期純利益	11,077

(注)記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

連結キャッシュ・フロー計算書

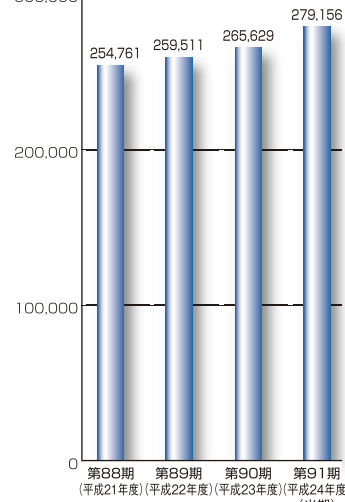
(平成24年4月1日から平成25年3月31日まで)

科目	金額
営業活動によるキャッシュ・フロー	43,901
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 28,489
財務活動によるキャッシュ・フロー	△ 11,941
現金及び現金同等物の増減額	3,470
現金及び現金同等物の期首残高	19,127
新規連結に伴う現金及び現金同等物の増加額	204
現金及び現金同等物の期末残高	22,802

(注)記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

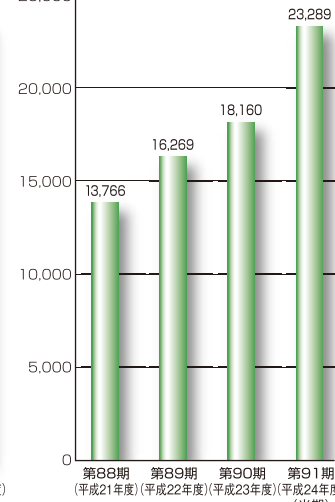
連結営業収益

(単位:百万円)



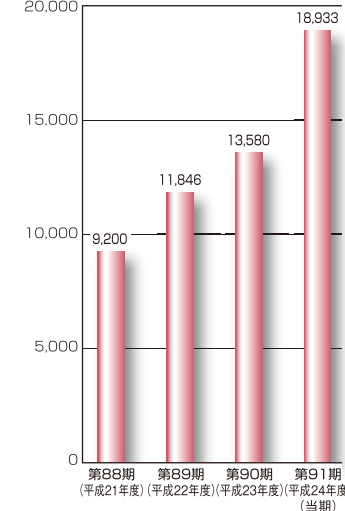
連結営業利益

(単位:百万円)



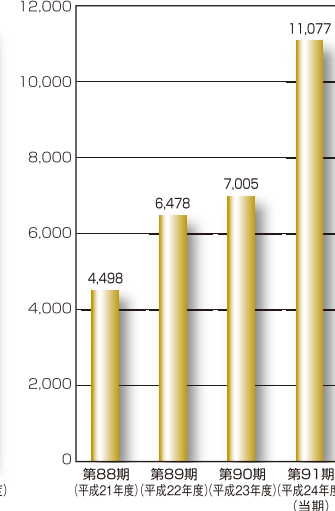
連結経常利益

(単位:百万円)



連結当期純利益

(単位:百万円)



京阪電気鉄道(個別)財務諸表 貸借対照表

(平成25年3月31日現在)

科目	金額	科目	金額
(資産の部)		(負債の部)	
流動資産	78,542	流動負債	131,539
現金及び預金	8,297	短期借入金	74,415
未収金	3,262	未払金	13,508
販売土地及び建物	47,168	預り金	4,451
その他	19,813	その他	39,163
固定資産	452,869	固定負債	264,523
鉄軌道事業固定資産	186,679	社債	70,000
兼業固定資産	152,134	長期借入金	134,420
各事業関連固定資産	2,808	長期未払金	1,485
建設仮勘定	25,859	再評価に係る繰延税金負債	36,189
投資その他の資産	85,387	退職給付引当金	7,829
関係会社株式	44,514	長期預り敷金保証金	13,927
投資有価証券	26,455	その他	671
その他	14,418	負債合計	396,062
		(純資産の部)	
		株主資本	96,175
		資本金	51,466
		資本剰余金	28,818
		利益剰余金	17,263
		自己株式	△ 1,373
		評価・換算差額等	39,173
		その他有価証券評価差額金	8,331
		土地再評価差額金	30,842
		純資産合計	135,349
資産合計	531,411	負債純資産合計	531,411

(注)記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

損益計算書

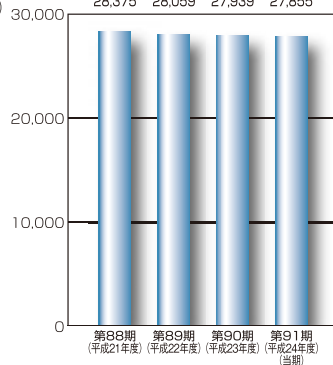
(平成24年4月1日から平成25年3月31日まで)

科目	金額
営業収益	86,254
営業費	70,710
営業利益	15,544
営業外収益	1,747
営業外費用	4,683
経常利益	12,609
特別利益	84
特別損失	557
税引前当期純利益	12,136
法人税、住民税及び事業税	4,036
法人税等調整額	412
当期純利益	7,687

(注)1.記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。
2.1株当たり当期純利益 13円67銭

総旅客数

(単位:万人)



京阪電車では、お客さまに安心してご利用いただくために、様々な訓練や安全関連設備の充実を図っています。今回はその一部をご紹介します。

災害対応訓練・複合利用鉄道施設防災訓練

当社では、東日本大震災を受け、地震、津波の発生時におけるお客さまの避難誘導や列車運行などの防災避難計画を見直しました。

平成25年2月には、この計画の有効性確認を目的に、東南海・南海地震と津波の発生を想定した訓練を実施しました。この訓練では、社長以下約240人が参加し、運転指令所内に対策本部を設置、現場での被害状況の把握、列車や駅からお客さまの避難誘導を行いました。

また、駅に隣接するグループ商業施設においても、定期訓練に加え、駅と合同で地震や火災などの発生を想定した訓練を実施することにより、施設横断的な連絡体制などを確認し、さらなる安全の向上を図っています。



事故復旧訓練



当社では、万が一の重大な列車事故の発生を想定し、事故復旧訓練を毎年実施しています。この訓練では、踏切内への無理な自動車の進入による列車脱線事故を想定し、実際に列車を脱線状態にしたうえで、お客さまの避難救護活動や運転再開に向けた復旧活動などを実施します。この訓練には警察署や消防署も参加し、関係機関との協力体制についての確認を行うことで事故への意識や対応、復旧能力を向上させることに努めています。

ホーム異常通報装置

お客さまがホーム下に転落するなど、列車を直ちに停止させなければならない事態が生じたときに、ホーム上に設置した非常通報ボタンを押すことにより、警報ランプやサイレンで乗務員および駅係員に異常を知らせ、事故を未然に防止する装置です。現在、当社では京阪線51駅、大津線は御陵駅を除く全26駅に設置しており、残りの駅についても順次設置を拡大していく予定です。



▲非常通報ボタン

踏切支障報知装置・踏切障害物検知装置

踏切支障報知装置は、踏切内での異常を発見したときに、このボタンを押すことで、直ちに列車に対して緊急停止信号を発信する装置です。また、踏切障害物検知装置は、踏切内での車などの立ち往生を検知し、列車に対して緊急停止信号を発信すると同時に注意喚起の警告ブザーを鳴動させる装置です。

現在、当社では、踏切支障報知装置は京阪線で63カ所、踏切障害物検知装置は京阪線で93カ所、大津線で40カ所設置しており、踏切での安全性を確保しています。



▲踏切支障報知装置

▲踏切障害物検知装置

! ホームや踏切で異常を発見したときは、事故を未然に防止する、これらのボタンを押し、列車や係員に対してお知らせください。ご協力をお願いいたします。

早期地震警報システム

気象庁から配信される緊急地震速報を利用して、当社線沿線で震度4以上が予測される場合、自動的に列車無線で全列車に対して通報することにより、大きな揺れが到達するまでに危険個所を避けて緊急停止を行うよう、乗務員に知らせるシステムで、被害の最小化を図ります。



▲早期地震警報システム

新型ATS(自動列車停止装置)

京阪線では、より一層の安全性向上に向け、平成26年度より新型ATSの使用を開始いたします。当社ではこれまで、地上に設置したATS装置で速度チェックを行い、列車運行の安全確保に努めてまいりました。新型ATSでは、列車の位置に関わらず常時速度チェックを行うことができ、さらに、踏切やホームでの異常発生時などにも対応する機能を有しており、より高い安全性を確保します。



今後の導入予定

- 平成26年度 深草～出町柳駅間で使用開始
- 平成27年度 枚方市～深草駅間、交野線、宇治線で開始
- 平成28年度 淀屋橋～枚方市駅間、中之島線、寝屋川・淀車庫内で使用開始(京阪線全線での更新完了)

「きかんしゃトーマス号2013」を運転しています

当社では、3月2日(土)から、ラッピング電車「きかんしゃトーマス号2013」を運転しています。

今回は淀屋橋・中之島〜出町柳間と交野線、石山坂本線でそれぞれ1編成を運転中で、7月からはお客様の投票で選ばれたキャラクター「パーシー」を中心にデザインしたラッピング電車も新たに交野線でお目見えます。また、私市駅では「きかんしゃトーマスとなかまたち」の舞台「ソドー島」をイメージした駅装飾を実施しています。

このほか、各種グッズ・乗車券の発売に加え、ひらかたパークでのイベント開催(※)、叡山電車や京阪バスでの車体装飾など京阪グループ各所で取り組みを実施し、グループにおける交通機関や施設の利用促進を図っています。

※ひらかたパークのイベントは7月7日(日)まで



▲10000系「きかんしゃトーマス号2013」(交野線)



▲私市駅

岡田准一さんがひらかたパークの新イメージキャラクターに

3月29日(金)、ひらかたパークの新イメージキャラクターが、アイドルグループV6のメンバーで枚方市出身の岡田准一さんに決定しました。現在、岡田さんの出演するCMおよびポスターを関西地区にて展開しています。

昨年、開園100周年という区切りを迎えたひらかたパークは、本年を新世紀のスタートの年と位置付けています。枚方市出身で同園での思い出も数多くお持ちの「ひらパー愛」あふれる岡田さんと、その記念すべき新たなスタートを切るとともに、同園および関西の活性化に寄与してまいります。

京阪バスがバスロケーションシステムの運用エリアを拡大中

京阪バス(株)では、現在「GPS型広域バスロケーションシステム」の運用エリアの拡大を進めています。

このシステムは、バスの到着予測時刻や現在位置などのリアルタイムな運行情報を携帯電話、スマートフォン、パソコンなどからご覧いただけるほか、あらかじめ登録いただいた停留所へ指定時刻にバスが近付くとメールでお知らせする機能も備えています。

現在、京都府域を運行するすべての路線バスと「ダイレクトエクスプレス直Q京都」全線で本システムの利用が可能となっています。今後は、平成26年度末までの全車導入を目指し、順次エリアを拡大するとともに、提供する情報の充実や、駅・商業施設への案内モニター設置などを進めていく予定です。



▲バスロケーションシステム
ご案内画面(パソコン)

京阪園芸の参画事業が土木学会デザイン賞最優秀賞を受賞

2月2日(土)、京阪園芸(株)が参画した大阪府中之島公園「水の都大阪の歴史と自然を継承する公園の再整備計画」が「2012年度土木学会デザイン賞」で最優秀賞を受賞しました。

これは土木学会景観・デザイン委員会が主催し、土木デザインによって公共空間・施設の質が向上した作品やその実現に貢献した人物、サポートした組織を表彰するものです。バラの育成・品種改良に定評のある同社は、中之島公園のバラ園リニューアルに際し、バラの品種提案と植栽工事、維持管理技術のアドバイスをを行いました。見頃には、同バラ園に、約310品種・約3,700株のバラが咲き誇ります。



「BIG HOP ガーデンモール印西」のPM業務を受託

(株)京阪流通システムズは、2月1日(金)から、千葉県印西市の大型商業施設「BIG HOP ガーデンモール印西」のプロパティマネジメント業務などを受託しました。

同モールは、北総鉄道「印西牧の原駅」に隣接するとともに国道464号にも面する交通アクセスに優れた商業施設で、約70の店舗が集積し、敷地内の高さ50メートルの観覧車はランドマーク的存在となっています。

同社は、今後も引き続き積極的な案件受託を進め、プロパティマネジメント事業の拡大を目指します。



大阪水上バス開業30周年記念キャンペーンを展開中

大阪水上バス(株)が10月1日(火)に開業30周年を迎えます。同社では、昭和58年の開業以降、水上バス「アクアライナー」や大阪港帆船型観光船「サンタマリア」、グルメ・ミュージック船「ひまわり」などを就航させ、水上観光事業を通じて水辺の賑わいや魅力づくりに取り組んでまいりました。

開業30周年を記念し、同社では、当社と共同でお得な「水都大阪・中之島 満喫チケット」を発売。同チケットは、「アクアライナー」乗船と周辺施設での食事やお土産・観光に利用できる特別記念セットチケットに京阪線1日乗車チケットが付いた、大変お得なチケットとなっています。このほかにも、多数の記念企画を実施する予定です。

今後も、水都大阪の魅力創造・発信を続ける同社の取り組みにご期待ください。



▲大阪水上バス開業30周年
記念ロゴマーク

京都タワー展望室と京都センチュリーホテル客室をリニューアル

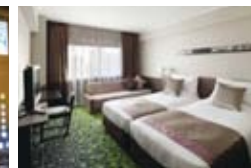
京阪グループでは、京都観光の拠点のひとつである京都駅前において、観光目的のお客さまをターゲットとした施設の魅力向上を推進しています。

京都タワー(株)では、昨年から進めてきた展望用エレベーターと展望室のリニューアル工事を完了し、4月1日(月)より営業を開始しています。エレベーターには京都の名所や京都三大祭のデザインを施し、扉上部には観光案内モニターを設置。展望室のカーペットも新調し、より快適に古都京都の眺望をお楽しみいただけるようになりました。

(株)京都センチュリーホテルでは、7階(全28室)を改装し「コンフォートフロア〜こもれび〜」として、3月3日(日)より営業を開始しています。安心感や安定・調和を表す「緑」をテーマカラーに、寛ぎの空間をご提供。また、ベッドをすべてハリウッドタイプに変更し、2〜3名様のご利用でもゆったりと寛いでいただける客室となっています。



▲京都タワー エレベーター



▲京都センチュリーホテル
「コンフォートフロア〜こもれび〜」

通販サイト「e-kenetマーケット」をオープン

(株)京阪カードは、昨年10月15日(月)、通販サイト「e-kenetマーケット」をオープンしました。同サイトでは、京阪グループを中心としたホテルの宿泊券、レストラン・レジャー施設の利用券などをお得な価格で販売しているほか、選りすぐりの食品・雑貨など約500点を取り揃えています。さらに、京阪電車オリジナルグッズも販売しています。

便利でお得な「e-kenetマーケット」をぜひご利用ください。

e-kenetマーケット アドレス
<http://www.e-kenetmarket.net/>

KEIHAN Corporate Information

京阪 会社情報

会社の概要 (平成25年3月31日現在)

■ 設 立	昭和24年11月25日(12月1日営業開始) (創立:明治39年11月19日)
■ 資 本 金	51,466,416,776円
■ 発行可能株式総数	1,595,886,000株
■ 発行済株式の総数	565,913,515株
■ 株 主 数	55,005名
■ 従 業 員 数	1,592名
■ 本 社 事 務 所	大阪市中央区大手前1丁目7番31号
■ 主 要 な 事 業 内 容	①鉄道事業(鉄軌道による旅客運輸) ②不動産事業(土地建物の販売および賃貸) ③レジャー事業(遊園地などの経営)
■ 営 業 キ 口	91.1km
■ 車 両 数	718両

役 員 (平成25年6月19日付)

代表取締役社長 CEO兼COO 執行役員社長	加藤 好文	常務執行役員	木村 靖夫
代表取締役 専務執行役員	小川 雅人	執行役員	浅井 栄一
取締役 常務執行役員	下條 弘	執行役員	中西 基之
取締役 常務執行役員	三浦 達也	執行役員	中野 道夫
取締役 常務執行役員	太刀川 克己	執行役員	尼田 賢光
取 締 役	佃 和夫	執行役員	上野 正哉
取 締 役	北 修爾	執行役員	稲地 利彦
監査役(常勤)	井関 隆政	執行役員	石丸 昌宏
監査役(常勤)	前田 佳彦		
監 査 役	家近 正直		
監 査 役	上野 至大		
監 査 役	島井 章吉		

京阪グループネットワーク (平成25年6月現在)

■ 運輸業	京阪電気鉄道(株) 叡山電鉄(株) 京福電気鉄道(株) (株)京阪エンジニアリングサービス (株)京阪レジャーサービス 中之島高速鉄道(株) (株)京阪ステーションマネジメント (株)京阪エージェンシー 京阪ライフサポート(株) 京阪バス(株) 京阪シティバス(株) 京阪京都交通(株) ケービー・エンタープライズ(株) 京阪宇治バス(株) 江若交通(株) (株)ザ・コジャック 京都バス(株) ケーター自動車工業(株)	■ レジャー・サービス業	(株)琵琶湖ホテル 琵琶湖ホテルサービス(株) (株)ホテル京阪 (株)京阪アーバンシステムズ (株)京阪リゾートシステムズ 京都タワー(株) (株)京都センチュリーホテル 琵琶湖汽船(株) 琵琶湖汽船サービス(株) びわこフードサービス(株) 大阪水上バス(株) 比叡山鉄道(株) (株)樟葉パブリック・ゴルフ・コース 比叡山自動車道(株) (株)ガーデンミュージアム比叡
■ 不動産業	京阪カインド(株) 京阪電鉄不動産(株) イースタン興業(株) 京阪産業(株) (株)かんこう (株)文化財サービス 京阪園芸(株)	■ その他	(株)大阪マーチャндаイズ・マート (株)京阪ビジネスマネジメント (株)京阪カード (株)はちけんや
■ 流通業	(株)京阪流通システムズ (株)京阪百貨店 (株)京阪友の会 (株)京阪ザ・ストア (株)京阪レストラン (株)ジュースーパー・コーポレーション		

表紙題字は加藤好文

GUIDE OF Concerning Stock

株主優待のご案内

株主優待乗車券および株主優待乗車証

ご所有株式数	乗車券または乗車証の種類	枚 数	乗車券を選択された株主様	枚 数	
1,000株以上 20,000株未満	当社線全線通用乗車券 (きっぷ)	1,000株 につき3枚	当社線全線通用乗車券 (きっぷ)	90枚	
20,000株以上 34,000株未満		60枚			
34,000株以上 48,000株未満	当社線全線通用乗車証 (定期券型式)	1枚			120枚
48,000株以上 100,000株未満		1枚			
100,000株以上 300,000株未満	当社線全線・京阪バス線 通用乗車証 (定期券型式)	2枚			240枚
300,000株以上 500,000株未満		3枚			360枚
500,000株以上 1,000,000株未満		5枚			600枚
1,000,000株以上		10枚			1,200枚

株主優待乗車証・優待乗車券選択方式のご案内

株主優待乗車証発行対象(34,000株以上ご所有)の株主様が、株主優待乗車券を希望される場合は、株主優待乗車証に替えて株主優待乗車券を発行いたします。

乗車券への変更方法

株主優待種別変更申込書を、変更を希望する優待の基準日(3月31日、9月30日)1カ月前までに当社に到着するようご送付ください。
株主優待種別変更申込書の入手は、当社ホームページよりダウンロードされるか、または当社株式担当へお電話ください。

株主優待種別変更申込書に必要事項を記入のうえ郵送

乗車券(きっぷ)への変更を登録

(申込書到着日と優待変更時期)

2月末日までに到着→ 6月下旬送付分より変更
8月末日までに到着→ 11月下旬送付分より変更

継続して乗車券をご送付

(乗車券に変更された後、乗車証に戻される場合も同様の手続きです。)

京阪グループ諸施設株主ご優待

1,000株以上ご所有の株主様は、京阪グループの諸施設をご優待価格でご利用いただけます。

①京阪グループ株主ご優待カード(何度でも利用可)

京阪グループホテル 宿泊20~40%割引	ホテル内レストラン 飲食10~20%割引 ステーキハウス近江 飲食20%割引
大阪水上バス 20%割引 琵琶湖汽船 20~30%割引	浜大津アーカス ボウリング・カラオケ割引
比叡山坂本ケーブル 20%割引	比叡山ドライブウェイ・ 奥比叡ドライブウェイ 通行料金割引
京阪園芸 10%割引 ガーデンミュージアム比叡 20%割引	琵琶湖ホテル 「るりの湯」 入浴料金割引

②京阪グループ諸施設 ご優待割引券(クーポン)

ひらかたパーク のりもの フリーパス 割引券2枚
バナンテ (天満橋駅) 飲食10% 割引券5枚
京阪百貨店 お買物 10%または5% 割引券20枚
ぐずはゴルフ場 割引券2枚

ひらかたパークご招待



ひらかたパーク株主ご招待入園引換券2枚(ご招待用乗車券4枚付)を1,000株以上ご所有の株主様に贈呈いたします。

送付時期(年2回)および有効期間

対象	3月31日現在の株主様	9月30日現在の株主様
送付時期	6月下旬	11月下旬
乗車券・ひらかたパークご招待券・諸施設株主ご優待の有効期間	ご到着日~1月10日	ご到着日~7月10日
乗車証の有効期間	7月11日~1月10日	1月11日~7月10日

※当社株主優待制度の詳細については、当社ホームページをご覧ください。